

トーク  
イベント

講師  
**戸部和久**  
(脚本家,演出家)

聞き手  
埋忠美沙  
(本学准教授)

マンガとアニメが

歌舞伎になるとまで

—歌舞伎とマンガIII—

日時：2026年1月9日（金）16:45～18:15

会場：国際交流留学生プラザ多目的ホール

対象：お茶の水女子大学 学生,教職員,附属校生徒,桜蔭会会員

マンガ・アニメ・ゲームを原作にした「2,5次元舞台」は2010年代から上演数が急増し、今や日本演劇でジャンルを確立しました。歌舞伎においても2015年のスーパー歌舞伎II『ワンピース』の大ヒット以降それらとの接近が顕著となり、『NARUTO—ナルト—』『刀剣乱舞』等、相次いで上演されています。これらが新たな客層の呼び水になっている一方で古典作品の上演数は減りつつあり、歌舞伎は現在過渡期にあるといえます。映画『国宝』が話題をよんでいる今こそ、歌舞伎の創造と伝承、そして未来を考えたいと思います。

新作歌舞伎『風の谷のナウシカ』『流白浪燐星（ルパン三世）』を手がけ、『歌舞伎交響曲第急番 エヴァンゲリオン』とスーパー歌舞伎『もののけ姫』を予定されている戸部和久さんを講師にお迎えし、様々なお話をうかがいます。



詳細はこちらのQRコードより  
HPを御覧ください



申込締切：1月8日(土) 18:00  
下記のQRコードよりお申し込みください



主催：お茶の水女子大学「伝統芸能×未来」プロジェクト  
お問い合わせ：dentogeino@cc.ocha.ac.jp  
担当：埋忠美沙（コンピテンシー育成開発研究所 准教授）